



# ステークホルダーの皆さまとの “関係”を大切にしながら、 企業活動が続けていきます。

1918年の創業以来、さまざまなステークホルダーの皆さまに支えられて、今日の私たちが成り立っています。  
これからも、企業活動を通じて皆さまに信頼され期待される企業を目指します。



## ニチバンの理念

### 創業の精神

私たちは、「和親協力・進取向上」を“創業の精神”として継承します。

### 基本理念

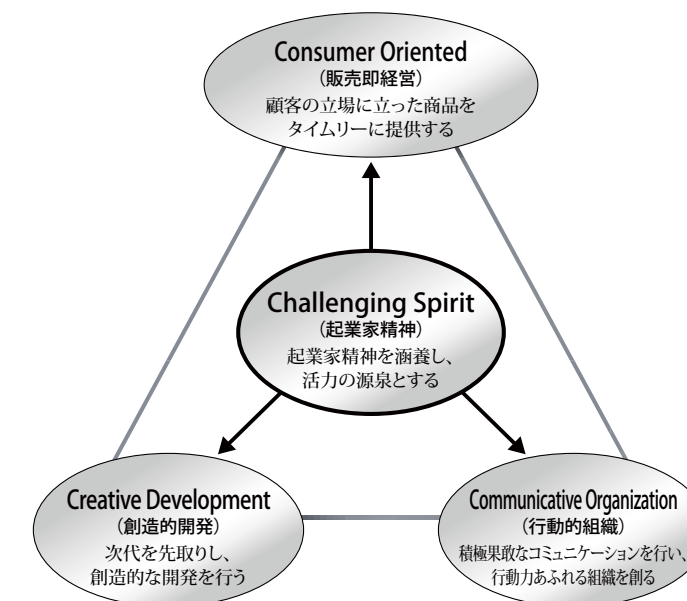
私たちは、常に社会に役立つ価値を創出し時代を拓き、  
ニチバンにかかわるすべての人々の幸せを実現します。

### 事業領域

粘着の分野を原点として新たな領域に挑戦し、  
常に世界に経営資源を求め、  
人々の快適な生活をトータルに支え続けます。

### 経営姿勢

“ベクトルC”の経営を実践します。



## 行動指針 〈アタック21〉

|                   |            |           |
|-------------------|------------|-----------|
| Flexible Attitude | 時代を見つめて    | 常に柔軟な発想を  |
| Ambitious Target  | 自らにチャレンジして | 常に高い目標を   |
| Quick Action      | 迅速な意思決定で   | 常に素早い行動を  |
| And Check         | 管理を怠らず     | 常に結果の見直しを |

## CONTENTS

|                |   |
|----------------|---|
| ステークホルダーとのかかわり | 1 |
| ニチバンの理念／行動指針   | 2 |
| 編集方針           | 2 |

|                |   |
|----------------|---|
| 中長期経営計画【NB100】 | 3 |
| 会社概要           | 4 |

|          |     |
|----------|-----|
| トップメッセージ | 5-6 |
| ニチバンの倫理  |     |

|           |      |
|-----------|------|
| 品質保証      | 7-8  |
| 経営とマネジメント | 9-10 |

|          |       |
|----------|-------|
| 社会性報告    |       |
| お客さまとともに | 11-12 |
| 社員とともに   | 13-14 |
| 社会とともに   | 15-16 |

|             |       |
|-------------|-------|
| 環境負荷低減の取り組み | 17-18 |
|-------------|-------|

### 編集方針

本報告書は、ニチバングループの活動の結果をご報告し、より多くの方々にニチバンの事業活動を知っていただくことを目的に発行しています。

### 報告対象組織

ニチバン（株）  
ニチバンプリント（株）  
ニチバンテクノ（株）  
ニチバンメディカル（株）

### 報告対象期間

2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の報告も含んでいます。

### 報告対象分野

環境・社会・経済的側面

### 参考にしたガイドライン

環境省  
『環境報告ガイドライン（2012年版）』

### 発行

2015年9月

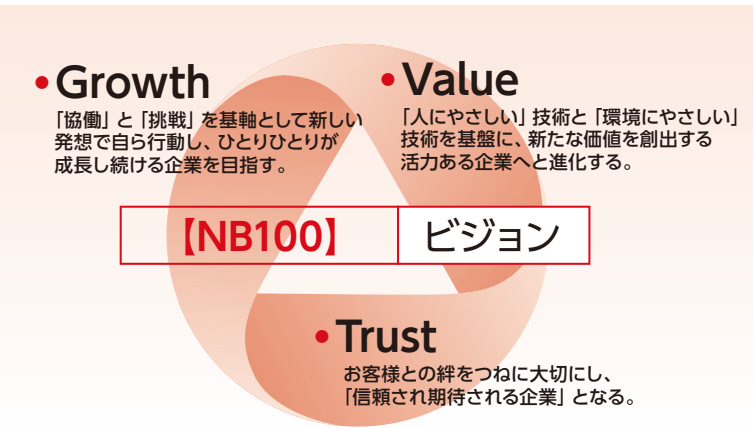
創業100周年に向けて  
【NB100】を推進しています。

当社グループは、2011年度より8ヵ年にわたる中長期経営計画【NB100】を推進中です。

【NB100】では、ニチバンの理念のもと、社会から「信頼され期待される企業」となることをビジョンとして掲げています。「企業品質向上」「基盤効率化・安定化」「成長追求」を戦略フレームとして、創業100周年を迎える2018年度までに「メディカル事業比率40%以上」「海外売上比率10%以上」を達成し、「連結売上高500億円」を目指します。

2013年度よりスタートした3ヵ年計画「Stage2」では、積極的な投資を実施し、将来に向けた成長戦略を展開しています。

【NB100】ビジョン



【NB100】戦略フレーム



2014年度事業ハイライト

2014年

- 4月** **新製品** 冷感の鎮痛消炎剤市場では業界初となる小形丸型プラスター剤「ロイヒつば膏<sup>TM</sup>クール」発売
- 新製品** 初心者でも簡単に足裏のテーピングができる足裏専用テーピングテープ「バトルウィン<sup>TM</sup>ランサボ<sup>TM</sup>」発売



- 5月** **IR活動** 平成26年3月期(第110期)決算発表

- 6月** **IR活動** 第110回定時株主総会開催

- 7月** **企業活動** タイ・バンコクに駐在員事務所開設

- 新製品** セロテープ<sup>®</sup>動物シリーズ第2弾「セロテープ<sup>®</sup>ペンギンカッター」発売



- 9月** **新製品** モイストヒーリングでキズを治す「ケアリーヴ<sup>TM</sup>治す力<sup>TM</sup>」から指先用、ジャンボサイズの2サイズ発売

- 新製品** 肌をしっかり保護・保湿する「あかぎれ保護バン<sup>TM</sup>」から「ロールタイプ」発売



- 11月** **IR活動** 平成27年3月期(第111期)第2四半期決算発表

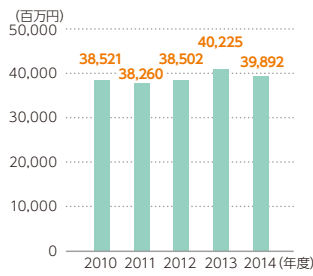
2015年

- 1月** **新製品** キッチン雑貨の新ブランド「Dear Kitchen<sup>TM</sup>(ディアキッチン)」から“ラベル”や“封どめ”に大活躍!「Dear Kitchen<sup>TM</sup>ワザアリ<sup>TM</sup>テープ」発売

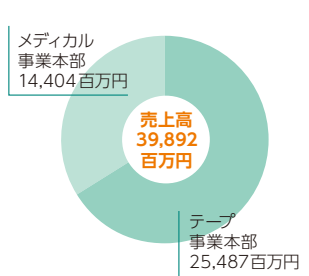
- 2月** **新製品** ステーションリーブランド「Petit joie<sup>TM</sup>(プチジョイ<sup>TM</sup>)」誕生可愛く上品な柄の「メンディングテープ」「マスキングテープ」発売

|        |                                               |
|--------|-----------------------------------------------|
| 商号     | ニチバン株式会社                                      |
| 創業     | 1918(大正7)年1月                                  |
| 本社所在地  | 〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号<br>TEL.03-5978-5601 |
| 代表者    | 代表取締役社長 堀田 直人                                 |
| 資本金    | 5,451百万円                                      |
| 売上高    | 39,892百万円(連結)                                 |
| 従業員数   | 1,160名(連結)                                    |
| 株主数    | 4,453名                                        |
| グループ会社 | ニチバンプリント株式会社<br>ニチバンテクノ株式会社<br>ニチバンメディカル株式会社  |
| 関連会社   | 株式会社飯洋化工<br>UNION THAI-NICHIBAN CO.,LTD.      |

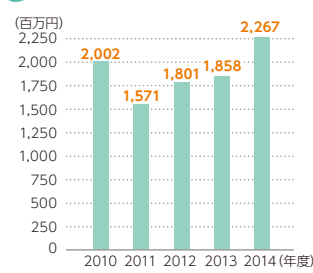
売上高(連結)



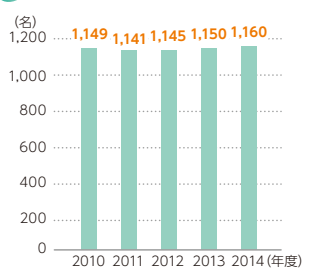
事業区分別売上高(連結)



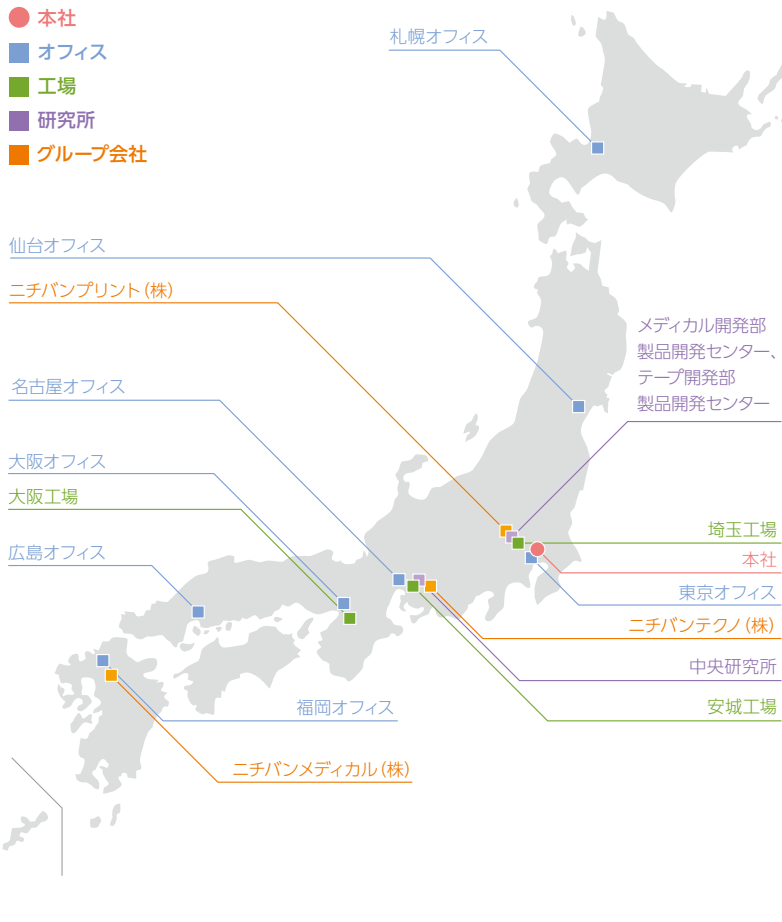
経常利益(連結)



従業員数(連結)



事業所・国内グループ会社



本社



埼玉工場

主な製品  
布粘着テープ類、  
マスキングテープ類など



ニチバンプリント(株)

主な製品  
ポイントメモ<sup>TM</sup>、  
マイタック<sup>TM</sup>ラベル類



ニチバンテクノ(株)

主な製品  
ぞうさんカッター、  
セロテープ<sup>®</sup>小巻タイプなど



大阪工場

主な製品  
テーピングテープ類、  
ロイヒつば膏<sup>TM</sup>など



安城工場

主な製品  
セロテープ<sup>®</sup>類、  
結束テープ類など



ニチバンメディカル(株)

主な製品  
ケアリーヴ<sup>TM</sup>類、  
サージカルテープ類など



ニチバンにかかわるすべての人々に貢献するために、歩んでいきます。

## 信頼され期待される 「100年企業」に向けて グループ全社員の力を結集します

堀田 直人 ニチバン株式会社 代表取締役社長

1918年、当社が「歌橋製薬所」として貼り薬の製品化拡大に向け操業を開始してから、今年で97周年を迎えます。戦前から戦後、そして現在に至るまで創業の精神である「和親協力・進取向上」のもと、幾多の苦難を経ながら今日のニチバンへと成長してきました。

私たちは、皆さまの健康で快適な暮らしに役立つ製品やサービスを提供し、新しい価値を作り出すことで「ニチバンにかかわるすべての人々の幸せを実現」することを基本理念としています。長年培ってきた“粘着”の技術と経験を受け継ぎ、社会の変化に対応した新たな価値を持った製品をこれからもお届けしてまいります。そして、社員にとって働きがいのある会社となることで社員自身の幸せを実現し、幸せの輪をステークホルダーの皆さまへと広げ、社会に貢献していきたいと考えています。

創業100周年を迎える2018年に向けて、当社グループは中長期経営計画【NB100】を推進しています。これは基本理念のもと、確固たる経営基盤を構築し、将来の成長に向けた取り組みに注力して、「信頼され期待される企業」を目指すというものです。当社グループがこの【NB100】ビジョンを実現し、100周年、そしてその先に向けて大きく飛躍していくために、全社員の力を結集して歩んでいきます。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、今後ともいっそうのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 誠実で公正な 事業活動を通じて、 社会的責任を果たします

酒井 寛規 ニチバン株式会社 常務取締役 CSR・経営統括担当

ニチバンは2018年に創業100周年を迎えます。当社が長年事業を継続することができたのは、ステークホルダーの皆さまに支えられてきたおかげでもあります。

存立基盤である社会の健全な発展があつてはじめて、企業は製品やサービスの提供、納税、雇用など社会的役割を果たすことができます。

私たちは、「常に社会に役立つ価値を創出し時代を拓き、ニチバンにかかわるすべての人々の幸せを実現」という基本理念のもと、誠実で公正な事業活動を通じて社会的責任を果たしてまいります。また、事業の特色を活かし、本報告書でもご報告する「ニチバン巻心ECOプロジェクト」のような企業市民として息の長い、地に足が着いた活動に取り組み、社会に貢献してまいります。

本報告書はステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションツールと位置づけています。皆さまより、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

### ニチバンの倫理

#### 基本方針

私たちは、「企業は社会の公器」であることを認識し、  
行動指針に基づく活動を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

#### 行動指針

- 1.法令等の遵守 ..... 私たちは、法を守り社会規範に従い、公正で透明な企業活動を行います。
- 2.有用・安全・安心な製品の提供・・・ 私たちは、「品質・安全・環境への最大限の配慮」を第一義とし、当社製品を通じ「顧客満足の向上をはかる」ことにより、お客様からの信頼を高め、社会に貢献します。
- 3.反社会的行為への断固たる対応・・ 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的行為には、毅然として対応します。
- 4.情報管理と開示の徹底 ..... 私たちは、ニチバンにかかわる全ての情報の適正な管理・保護ならびに企業情報の適時・適切な開示を行います。
- 5.当社倫理の徹底 ..... 経営者は、この『ニチバンの倫理』の精神に則り、率先垂範で社内体制を整備し広く周知徹底します。



継続的な人財育成をすすめ、  
お客さまから信頼される企業を目指します。

品質・環境面における課題解決の取り組みが、  
品質保証および環境保全につながります。

ニチバングループでは、日々の業務において生産性の向上、品質の安定化に取り組むことが、結果として品質保証および環境保全につながると考えています。

品質面においては、ニチバングループ品質方針のもと、品質リスクを予防する体制の強化を進めています。製品の開発設計、製造の各段階で不具合の発生を未然に防ぐ仕組みを運用し、有効に機能するよう継続的な見直しを行っています。また、不具合が発生した場合も背景から原因まで考察を行い、再発防止に努めています。安全で満足いただける製品を提供するにはお客さま視点で品質向上に取り組むことが重要と考え、生産部門全体で改善活動に取り組んでいます。

環境面においては、ニチバングループ環境方針のもと、

ISO14001を基本として環境マネジメントに取り組み、継続的な改善を目指しています。生産工程では有機溶剤を使用しているため、生産拠点周辺の皆さまの環境に十分配慮して管理を徹底するとともに、脱溶剤化に向けた取り組みを推進しています。CO<sub>2</sub>削減などのエネルギー消費抑制と生産性向上は連動していることから、日々の改善が環境負荷の低減につながるという意識を持ち、削減目標を設定してすすめています。



山田 隆文  
ニチバン株式会社  
取締役執行役員 品質保証本部長

改善できる人財を育成し、  
組織として品質保証を実現します。

- ISO取得から20年が経過してオペレーションが一定の完成度にある現在、本質的な問題が生じたときに対処が困難になるという運用面の課題が出てきています。生産現場においては、仕組みについて本質的な理解を深めていくよう、人財育成に重点をおいて活動しています。主要な活動は以下の4つです。
- 1. 改善活動の手引書を作成し、改善活動に必要なスキルを示す。
  - 2. 各工場の品質責任者が集まる定例ミーティングで改善のPDCAを共有する。
  - 3. お客様相談室情報や工程情報を活用し、異常に気づくことができる仕組みを作る。
  - 4. 工場ごとに改善活動発表会を実施、さらに全社発表会で

各工場の活動をレビューする。

また、生産拠点の各工場は環境面において絶対の安全・安心を確保し、地域から信頼され続けなければなりません。法令を遵守して生産活動を管理・推進するのは当然ながら、近隣住民の皆さまをはじめ有識者、自治体のご担当者さまを招いて説明会や意見交換会を開催するなど、丁寧な情報提供を心がけています。

私たち品質保証本部は、品質・環境面における全社的な活動レベルの向上に取り組んでいます。品質の優れた製品をお届けし、お客さまから信頼される企業を目指して、継続的な人財育成をすすめ、組織的に品質保証を実現する体制を構築・強化していきます。

ニチバングループ品質方針

安全で信頼される品質と新たな機能を限りなく追求し  
顧客の期待に応え  
かつ満足を得られる製品を提供する

ニチバングループ環境方針

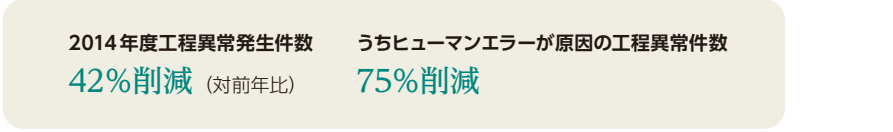
ニチバンは人と物および地球環境にやさしい技術を通して、  
製品の全ライフサイクル〔開発・製造・流通・使用・廃棄〕にわたり  
安全と健康と環境面の配慮に努める

工場に取り組んでいる改善活動の一部をご紹介します。

埼玉工場 品質工程異常削減の取り組み

埼玉工場では、以前から品質工程異常の削減に取り組んでいます。2014年度は工程異常の発生原因の約4割を占めるヒューマンエラー削減を重点課題として活動しました。

活動を進める中で、メンバーによって製造作業標準書の内容を理解できていない部分があることが判明したため、理解力の向上に重点を置いて課内教育を実施しました。また作業の管理図をつけることで異常に気付ける仕組み、掲示物の見直しや更新を随時行うことで間違えにくい環境、異常が見えやすい環境づくりができました。今後も日々の教育で改善策を習慣付けていくとともに、関連部署とも連携して異常に気づける工夫をしていきます。



改善前



改善後

作業手順確認のための掲示が多数ありましたが、対策以降は本工程での異常が発生していないため、すべて撤去しました。

安城工場 検査データ活用による監視強化

安城工場では、検査業務における結果やデータから考察・提案・発信ができる人財を育成することで監視力を高め、品質の安定化につなげることを目指しました。

定期ミーティングや日々の検査データ確認・考察に取り組み、データから異常点を早期に発見し、対応するフローの構築をすすめた結果、検査員の力量や意識が向上しました。また、専用ソフトを使っていた管理図やヒストグラムをエクセルで作成、項目を追加し、誰でも活用できて異常点を発見しやすいデータベースに改善しました。

工場内で情報共有する流れができたことで、ある項目で異常点が連続発生した時も原因究明・対策まで早急に実施、安定化につなげることができました。

今後はQC道具を活用しながら、監視する特性項目の拡大、他製品への活動展開をすすめていきます。



定期ミーティング

大阪工場 コンプレッサー運用改善による効率化

大阪工場では、2014年2月に電動コンプレッサーの更新を行いました。運用開始後の状況分析にて、エアー使用量の少ない低流量域での運用効率が低下していることが判明、運用改善による効率化およびCO<sub>2</sub>削減を目的に本テーマを選出しました。

新コンプレッサーはインバータ式で電力が自動制御されますが、エアー流量を細かく監視した結果、低流量時には運転台数を減らした方が高効率となることがわかりました。また、当初はエアー流量のみで制御を行っていたところ、流量と圧力に必ずしも相関がない場合があることを発見し、新たに圧力制御も追加しました。エアーを流量と圧力の二重管理とすることで、制御台数の切り替えを円滑に行っています。

今後は設備環境の課題解決も含めて、一層の安定稼働による効率化を目指します。



電動コンプレッサー



経営の質・中身の向上に取り組み、  
社会に対する責任を果たします。

コーポレート・ガバナンスと内部統制

健全で透明性の高い経営を行うため、  
コーポレート・ガバナンス体制の強化を図っています。

ニチバンではコーポレート・ガバナンスを有効に機能させるために、東京証券取引所が規定する独立役員を置くとともに、内部統制システムを整備し、経営の健全性および効率性の向上を図っています。

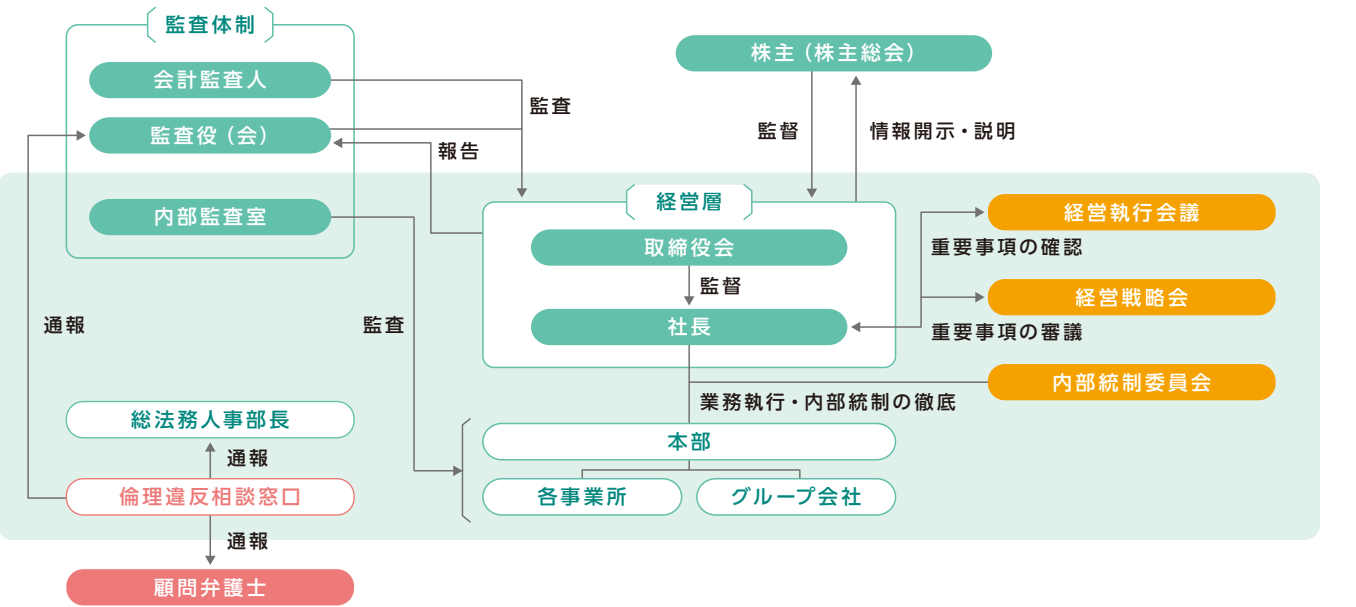
取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制として、月1回の取締役会に加え、経営活動の迅速化と効率化を推進するため、社長を議長とする経営戦略会を月2回開催しています。さらに取締役会の機能をより強化するために、全執行役員が出席する経営執行会議を月1回開催し、業務執行に関する基本的な事項および重要事項の確認を行っています。取締役会は社外取締役1名を含む8名で構成されており、取締役の任期を1年とすることで、毎事業年度の経営責任および執行責任を明確にしています。

監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制としましては、社外監査役2名を含む監査役会が、重要な会議体へ出席して経営状態・意思決定プロセスについて常に

把握するとともに、内部監査に関わる状況とその監査結果の報告を受けるなど内部監査室と緊密な連携を保ち、さらに会計監査人と随時連携して情報交換をしながら監査にあたることとしています。

また、取締役および使用人の職務執行が法令および定款に適合することを確保するための体制として、社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制システムの整備、運用状況の確認等、必要な措置をとっています。さらに、社内担当者・監査役会議長および社外の顧問弁護士を直接の窓口とする「ニチバングループ倫理違反相談窓口」を設置し、通報者を保護しつつ透明性を維持して、的確に相談・通報案件に対処する体制を当社グループ全体で構築しています。法令・定款のみならず、「ニチバンの倫理」「コンプライアンス規則」等の社内規程の遵守を図り、その違反、またはそのおそれのある事実の早期発見に努めています。

ニチバン内部統制システム



緊急時の対応

災害をはじめとする緊急時に、社員と事業を守ります。

ニチバンでは、大規模災害や緊急事態の発生時に備えて「緊急時対応規定」を定め、初動対応の体制、手順等を明確にして日頃より訓練を行っています。

特に大地震など自然災害発生時に備えて、社員の安全確保のためにグループ全社員へ「災害時初動マニュアル」を配付し、取るべき行動を示しています。また、「安否確認システ

ム」により迅速に安否を確認する体制を構築しています。さらにライフラインが寸断されたときや、帰宅困難者が発生したときの備えとして、数日分の飲料水や食料等を備蓄しています。このような危機管理体制により災害に備えるとともに、継続的に体制を見直し、強化を図っていきます。

事業継続計画（BCP）の取り組み

災害発生時にも製品の供給責任を果たすことができるよう、  
取り組みを進めています。

ニチバンでは、事業継続計画（BCP）につき「ニチバングループBCP基本方針」を制定し、事業の継続に影響のある大きな災害発生時の基本的な考え方を明確にしています。

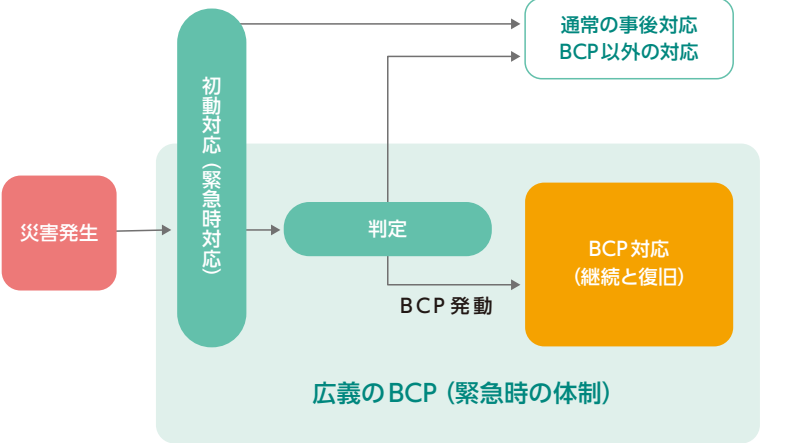
実際のBCP策定については、2013年度より会社の主要な会議体の位置づけのもと、BCP委員会を設置し検討をすすめています。災害発生時の初動対応、事業継続・復旧の2段

階を想定したうえで、各段階で実施すべき行動、予想される問題点を抽出、マニュアル化し、可能なものは事前の予防処置をとるという作業をすすめています。特にメーカーとして製品の供給責任を強く認識し、可能な限り製品の供給を維持するための準備を行っており、一部施策は先行して実施しています。

ニチバングループBCP基本方針

- ①従業員・関係者の生命・安全を最優先に確保する
- ②早期復旧により、お客様への製品の安定供給と、事業の継続を確保する
- ③地域社会への支援を行い、社会的責任を果たす

緊急時の対応体制





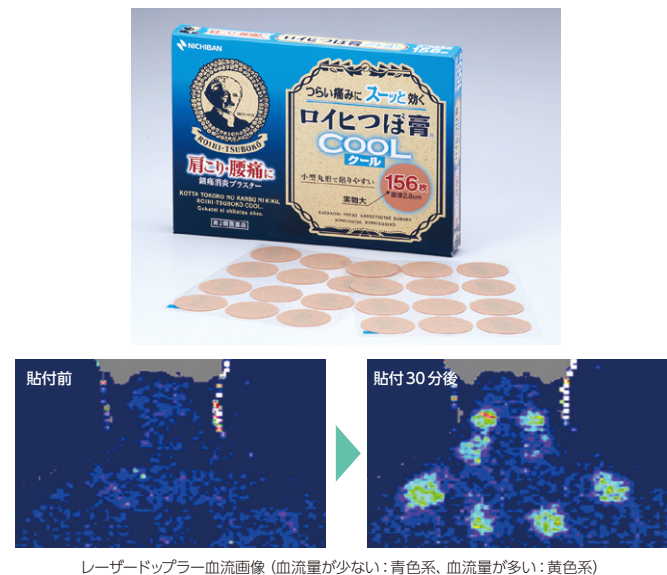
製品を通して、  
お客さまと信頼関係を築きます。

## メディカル事業

### ロイヒつば膏<sup>TM</sup>クール 製品概要

効き目感と貼りやすさが特長の貼り薬『ロイヒ<sup>TM</sup>』シリーズに、初の冷感タイプが登場しました。「ロイヒつば膏<sup>TM</sup>クール」は、サリチル酸メチルによる鎮痛消炎作用と $\alpha$ -メントールとd $\alpha$ -カンフルによる冷感刺激により、肩こり・腰痛・筋肉痛などを緩和します。また、直径2.8cmの丸形サイズなので、狙ったところにピンポイントで貼ることができます。基材には皮膚の動きに合わせて伸縮する素材を採用し、貼っていても違和感なく肌にフィットします。

これからも「ロイヒ<sup>TM</sup>」シリーズを通じて、肩こり・腰痛などに悩むお客さまの快適な生活に貢献してまいります。



レーザードップラー血流画像（血流量が少ない：青色系、血流量が多い：黄色系）

#### 担当者コメント

「ロイヒつば膏<sup>TM</sup>クール」の開発にあたり、設計部署ではさまざまな薬物の配合検討だけでなく、肌によくフィットする基材の選定を行いました。おかげで、温感タイプの「ロイヒつば膏<sup>TM</sup>」とは異なる使用性を実現できました。

また製品名・パッケージデザインの開発に大変苦労しました。ロイヒ<sup>TM</sup>のブランドイメージを踏襲しつつも、温感のロイヒつば膏<sup>TM</sup>と競合せず、製品のイメージをお客さまに伝えられるよう、関連部署と連携して製品名・デザインの開発を行いました。その結果、店頭でも際立ち、お客さまに手に取っていただけるキャッチーなパッケージが実現できたと考えています。



メディカル事業本部 メディカル開発部  
南波 真広

## テープ事業

### 雑貨2ブランドの開発

#### 1) Dear Kitchen<sup>TM</sup> (ディアキッチン<sup>TM</sup>) ワザアリ<sup>TM</sup>テープ

家事の時短・効率化を応援するキッチン雑貨の新ブランド「Dear Kitchen<sup>TM</sup>」から、第一弾として、手で簡単に切れ、貼ってはがせる水に強いフィルム素材のテープを発売しました。食品袋の封どめをはじめ、保存容器やフリーザーバッグの日付・内容物のラベルなど、さまざまな用途にお使いいただけます。



#### 担当者コメント

2014年度より、部署の垣根を越えてブランドターゲット層となる女性のメンバーが集まり「雑貨ワーキング」として活動しています。女性目線で、お客さまに身近で、楽しく信頼して使ってもらえる製品を考え、発売することが目的です。定期的集まり、デザイン面や販促物を中心に、製品がより魅力的になるよう活発な意見交換をしています。ブランド名やネーミング、テープの柄、パッケージデザイン、リーフレットやディスプレイなどに、チームの意見が強く反映されています。

ディアキッチン<sup>TM</sup>シリーズ、プチジョア<sup>TM</sup>シリーズとも、今後のシリーズ展開に向けた企画の検討をすすめています。



テープ事業本部 テープ開発部  
森山 英理

#### 2) Petit joie<sup>TM</sup> (プチジョア<sup>TM</sup>) メンディングテープ、マスキングテープ

ステーションナリーブランド「Petit joie<sup>TM</sup> (プチジョア<sup>TM</sup>)」は、「すぐそばにある幸せ」をコンセプトに、可愛さと上品さを兼ね備えた製品を提供します。シリーズ第一弾として、フィルム素材の透け感を楽しめる「メンディングテープ」と、和紙の風合いを楽しめる「マスキングテープ」を展開しています。



## お客様相談室報告

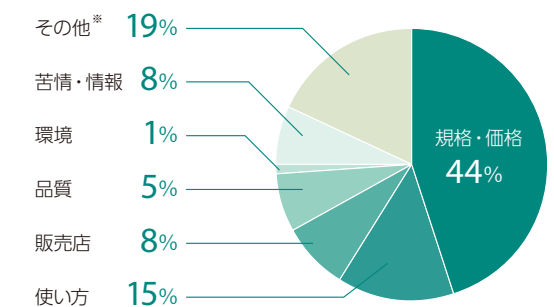
### お客さまの「声」を活かす仕組み

ニチバンお客様相談室では、日頃からニチバン製品を使用いただいているお客さまをはじめ、販売店さま、卸業者さまなどからの製品に対するお問い合わせやご指摘などに対応しています。お客さまから寄せられた貴重なご意見は、関連する部署へフィードバックし、製品開発や改善に利用させていただいています。

2014年度お客様相談室  
お問い合わせ件数

20,476件

#### お客さまのご相談内容



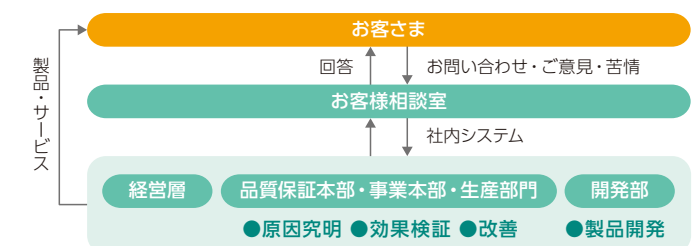
※「その他」には、ご提案、修理などが含まれます。

#### お客様相談室

ご意見・お問い合わせはこちらで承っております。  
Tel. ☎ 0120-377218 Fax. 03-5978-5640

ウェブサイトではご意見のみ承っております。  
<http://www.nichiban.co.jp/support/>

※お電話の受付時間は土・日・祝日を除く9:00～12:00、13:00～17:00とさせていただきます。



社員がいきいきと働ける  
職場づくりをすすめています。

健康管理の取り組み

メンタルヘルス対策の推進

心の健康のために、ストレスチェックを起点とした  
職場風土の改善に取り組んでいます。

社会環境や雇用状況の変化から企業に対してメンタルヘルスへの対策が求められるようになり、ニチバンにおいても2009年から社員のストレスの状況を把握するためにストレスチェックテストを年一回、正社員を対象に実施しています。社員一人ひとりが自分のストレスの状況に気づき、個人の状態にあったe-ラーニングの提供を通じて、それぞれが心の健康への配慮ができるよう取り組みを行っています。

またストレスチェックテストの結果を通じて組織全体の傾向を把握し、職場の環境改善につながるよう取り組みを推進しています。

今後は事業所ごとの産業保健体制の充実を図り、事業所での相談対応、管理職を中心としたラインケア教育の実施などそれぞれの職場に応じたメンタルヘルス体制の構築を推進していきます。

ダイバーシティとワークライフバランス

働きやすい職場を支える制度

さまざまな制度を通じて、  
多様な働き方を支援しています。

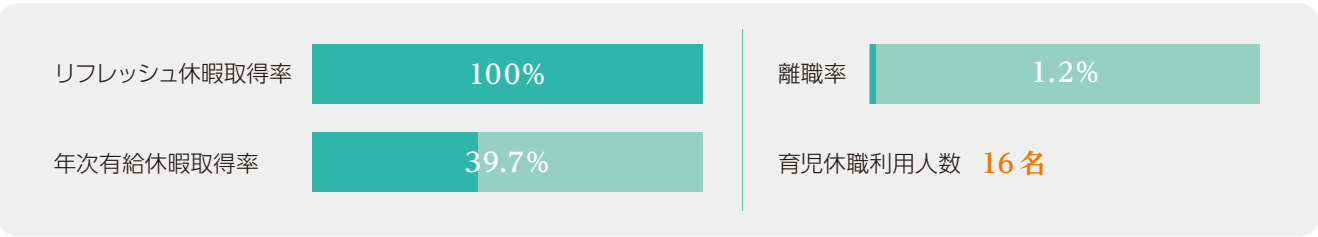
ニチバンでは、法定の「年次有給休暇」に加え、さまざまな休暇・休職制度を整備しています。私傷病のための「傷病休暇」、子育てのための「育児休職」、「育児短時間勤務」制度、家族の介護を目的とした「介護休職」、「介護休暇」などがあります。また、勤続10年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」などを設けています。

**ウェルカムバック制度**

育児や介護などライフイベントや配偶者帯同を理由に退職する社員が、その理由の解消した後に復職できる機会を提供するべく2014年度に「ウェルカムバック制度」を創設しました。対象はライフイベント以外にも、傷病によりやむを得ず退職した社員も含まれます。

社員にとっては慣れ親しんだ会社・職場で再び働くことができる安心を感じてもらい、会社にとってはニチバンで培った能力・スキルを再び発揮いただくことを期待するとともに、長期的な人財育成につながるように本制度を活用していきたいと考えています。

休暇等の取得率



基本的な考え方

人権に関する方針

- ニチバンでは、「行動ハンドブック」の中で、「従業員の多様性、人格、プライバシーの尊重」について以下の4点を定めています。
- ① 差別、嫌がらせ、不当な取扱い等の禁止
  - ② 「職場におけるハラスメント」の禁止
  - ③ 公正な取扱い、評価と人財育成
  - ④ プライバシーの尊重と個人情報の保護

雇用に関する方針

企業として発展し続けるため、ニチバンでは「協働」と「挑戦」を基軸とし、新しい発想で自ら行動し、成長し続けることのできる人財を求めています。採用においては会社説明会と学生のパーソナリティを重視した複数回の面接で、学生と会社が相互理解を深めることに留意しています。このような取り組みの結果、2014年度離職率は1.2%となっています。

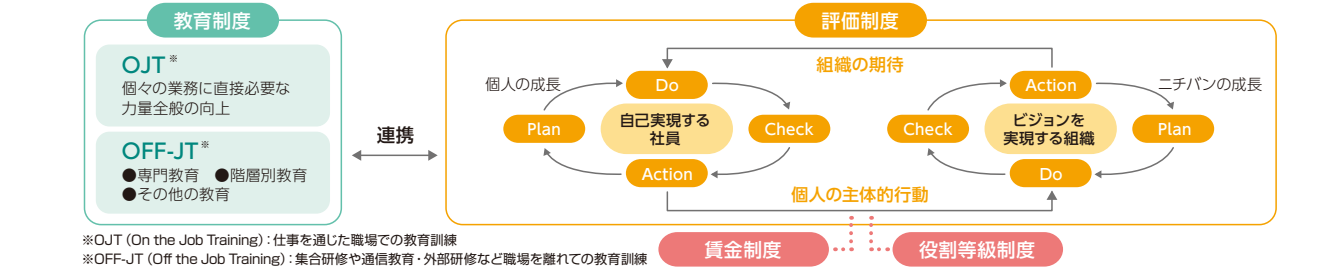
人財育成

専門性と創造性に富み、新たな領域にチャレンジする意欲にあふれた人財の育成を目指す教育研修を実施しています。入社後は階層別教育を主体にニチバンで働く社会人としての基礎を身に付け、その後は専門教育を中心に一人ひとりの役割に応じた専門的力量を養います。

人事制度

ニチバンの人事制度は、「評価制度」「役割等級制度」「賃金制度」の3つで構成されています。このうち「評価制度」では、期待される行動に対する「行動評価」と、自ら設定した目標に対するプロセスと成果を確認する「業績評価」により、客観的に公平かつ納得性のある評価を行います。これにより、「人財育成による仕事の質の向上」と「企業ビジョンの実現」を目指します。

人事制度 ～教育制度と評価制度の相乗効果による、レベルの高い人財育成・職場の伝統ノウハウの継承～



3つの相談窓口

ニチバングループには3つの相談窓口があり、社員がかかえるさまざまな問題に対応できるようにしています。

ハラスメント相談窓口

ハラスメント被害に関する内容全般についての相談を受け付けており、本社総法務人事部をはじめとする7ヶ所に責任者と相談員を配置しています。

こころとからだの健康相談

健康面や業務上の問題だけではなく、育児や介護などの

家庭内の相談にも対応できるようにしています。電話窓口のほか、いつでも相談できるようにWebによる相談サービスも行っています。

倫理違反相談窓口

業務上のさまざまな問題について、内部と外部に相談窓口を設置しています。内部窓口寄せられた相談についても、顧問弁護士に相談する体制をとっており、常に専門家の意見が反映される仕組みになっています。



環境、地域貢献などさまざまな活動を通じて、  
ステークホルダーの皆さまとの絆を深めます。

ニチバン巻心ECOプロジェクト

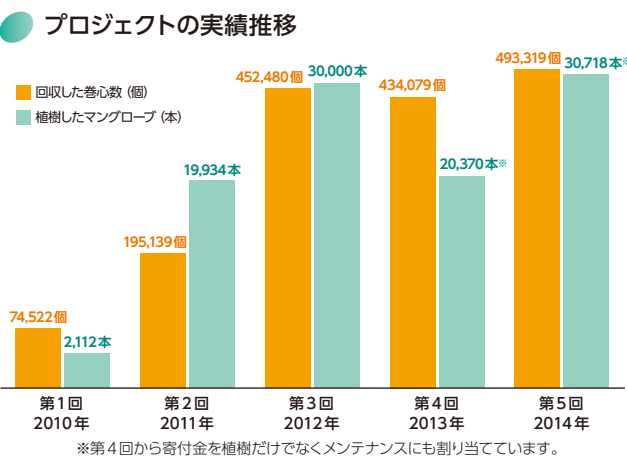
ゴミとして捨てられていた巻心を回収し、  
資源として再利用する環境活動を推進しています。

ニチバン製品の多くは粘着テープで、それらは形状を保つために巻心に巻き付けられています。このため、テープを使い切ると必ず巻心が残り、残った巻心はゴミとして捨てられていました。この巻心をゴミにしないために、ニチバンが2010年度から始めたのが「巻心ECOプロジェクト」です。

第5回は2014年11月から2015年1月までの3ヶ月間実施しました。全国の学校・企業・病院などの団体と、個人の方々に参加いただいた結果、過去最多となる49万個以上の巻心を回収し、段ボール用リサイクル資源として活用しました。あわせて、リサイクルで生じた利益金をもとに、環境NGO「イカオ・アコ」を通じ、2016年3月までにフィリピンにおいて3haの土地に新たにマングローブ3万本以上を植樹する予定です。

本プロジェクトを環境教育という側面から、授業などに取り入れる学校の参加もあります。今回は参加いただいた小学校への出前授業も実施し、リサイクル活動の重要性やマングローブが地球環境に果たす役割などについて、児童たちと一緒に考えました。

今後も、多くの皆さまに参加いただける環境保護活動の支援を推進していきます。



2015年5月、フィリピン西ネグロス州で現地ボランティアによる今年度1回目の植樹が行われました

広島県府中市立栗生小学校で行った出前授業の様子

第5回ニチバン巻心ECOプロジェクト 結果概要

**期間:** 2014年11月1日～2015年1月30日

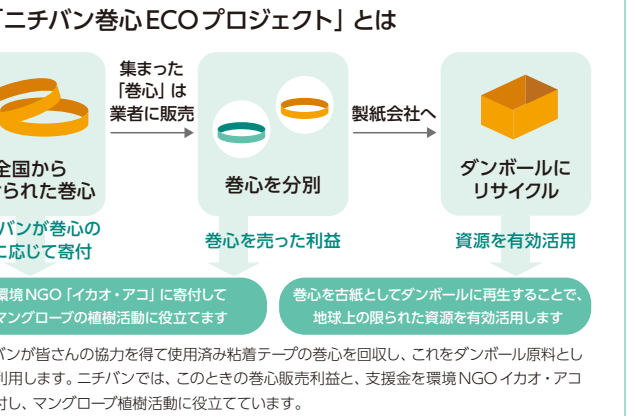
**回収した巻心:** ニチバン製およびニチバン製以外の市販のセロハンテープ、クラフトテープ、テーピング用テープ、医療用補助テープなどの各種粘着テープの紙製巻心

**回収方法:** お客さまからの郵送（送料は参加者負担）

**参加者数:** 団体（学校、企業、病院など）710団体、個人997名

**回収した巻心数:** 493,319個

**植樹予定本数:** 30,718本



地域とのかかわり

防災訓練

ニチバングループでは、工場火災や地震災害などの緊急事態に備え、定期的に訓練を実施しています。2014年度も各拠点で地震や火災、漏洩を想定した訓練を実施しました。また、新入社員や異動者に対しては、初期消火訓練として実際に消火器で消火する訓練を実施しています。



埼玉工場



ニチバンプリント（株）

工場見学

ニチバングループでは、地域貢献の一環として、主に地域の小学生・中学生・高校生を対象に工場見学を実施しています。安城工場では「セロテープ®」、ニチバンメディカル（株）では「ケアリーヴ™」の製造工程を見学いただきながら、品質管理や環境負荷低減の取り組みについて紹介しています。

今後も積極的に工場見学などを取り入れ、より多くの皆さまに当社のことを理解いただきたいと考えています。



安城工場



ニチバンメディカル（株）

地域貢献活動

ニチバングループでは、地域貢献の一環として、清掃活動などに積極的に参加しています。大阪工場では年2回、周辺の道路や側溝などを清掃する活動に参加しています。ニチバンテクノ（株）では、全国交通安全運動の実施期間中に立哨活動に取り組み、交通安全の啓蒙や地域の皆さまとのコミュニケーションを深めています。



大阪工場 清掃活動



ニチバンテクノ（株）交通安全立哨活動

株主・投資家とのかかわり

株主の皆さまとコミュニケーションを図るため、ニチバングループでは事業活動を取りまとめた報告書を定期的に発行しています。また、株主優待制度として、1,000株以上保有いただいている株主さまに3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を年1回進呈しています。機関投資家や証券アナリストの皆さまには、個別取材に随時対応するとともに、決算説明会を年2回開催しています。その他にもホームページやIRニュースのメール配信を通して、適時適切なIR情報の提供に努めています。



株主優待品 贈呈内容の例



決算説明会

震災復興

仮設住宅入居者への物資支援

東日本大震災の復興支援として、福島県いわき市に保有している工場用地を、被災者の方々の仮設住宅用地として、2011年6月より福島県に無償貸与しています。仮設住宅に入居されている方々へお見舞いとして、当社製品および大塚グループ製品の詰め合わせを年1回進呈しています。



工場用地と仮設住宅



自治会の皆さまへ進呈



CO<sub>2</sub>排出量の削減をはじめ、  
環境面の配慮に努めています。

埼玉工場の取り組み

燃料転換

重油から都市ガスへの燃料転換による  
CO<sub>2</sub>排出量削減

ニチバン埼玉工場は、埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく目標設定型排出量取引制度において、原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の大規模事業所に当たります。排出量取引制度により、基準年度のCO<sub>2</sub>排出量平均に対し年間6%の削減が求められました。2013年4月にCO<sub>2</sub>排出量削減対策として、重油から都市ガスへの燃料転換を計画しました。2014年1月から都市ガスを燃料とした新規ボイラーの本格稼働が始まり、排出量取引第一計画期間の目標削減量6%を上回る8%の結果が得られました。今後も地球にやさしい工場を目指し、環境負荷の低減に努めます。

埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく

CO<sub>2</sub>排出量削減率 **8%**



都市ガスボイラー



都市ガス整圧器

営業オフィスの取り組み

エコカー導入の推進

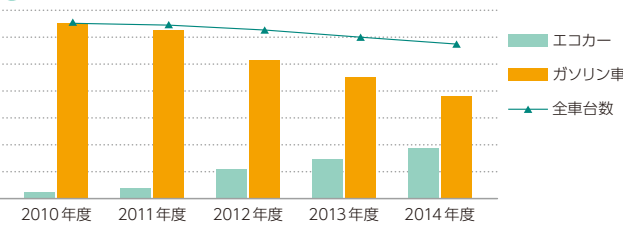
エコカー導入推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減

ニチバンでは、営業車使用に起因するCO<sub>2</sub>排出量削減のため、大気汚染物質の排出が少なく、環境性能に優れた低排出ガス認定自動車（通称「エコカー」）への切り替えを推進しています。2010年度から試験導入をはじめ、2014年度には営業車両の33%がエコカーとなっています。

営業車両におけるガソリン車の台数が減少していることもあり、対2010年度比で営業車1台あたりのCO<sub>2</sub>排出量を21.1%、NO<sub>x</sub>排出量を41.4%削減することができました。

今後も環境性能に優れた車両の導入を推進するとともに、全社員のエコドライブの意識向上に努め、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。

低排出ガス認定自動車 導入の推移



エコカー

環境負荷低減活動につきましては、当社ホームページで詳しくご紹介しています。 <http://www.nichiban.co.jp/csr/environment/index.html>

環境負荷低減活動

省エネルギー 工場・オフィスの取り組み

ニチバングループでは、デマンド監視モニタや監視システムの設置・拡大により、エネルギーの見える化をすすめています。特に工場では日々の電力使用量をモニターで確認しながら、目標の電力使用量を超えないように管理し、社員全員で年間を通しての節電に取り組んでいます。

水の有効利用 省資源への取り組み

世界的に水資源の確保が重要な課題となっている中、ニチバングループでも水使用量の削減と有効利用に取り組んでいます。これまでも冷却水の循環利用など水の有効利用を推進し、2014年度の水使用量は636千m<sup>3</sup>となりました。今後も水使用量の削減に努めていきます。

廃棄物削減

ニチバングループでは、2012年度に目標の「ゼロエミッション率全社で99%」を達成し、維持しています。今までは有価物としての売却や廃棄物の分別管理などに取り組んできましたが、今後は工程の見直しや歩留まりの改善などで廃棄物の発生を減らせるよう取り組みます。

化学物質管理

環境問題に対する関心の高まりから国内外で法規制の見直しや整備がすすめられており、環境有害物質に関する規制も厳しくなっています。ニチバングループでは、お客さまからのさまざまな法規制に対しての調査依頼に対応するため、原材料メーカー様に対し、自社のグリーン調達基準に基づき、原材料中に有害な化学物質の使用・含有がないかの調査および管理状況の確認をお願いしています。

環境目標と実績 対象範囲：本社、埼玉事業所、安城事業所、大阪工場、グループ会社3社

| 課題                                                      | 2014年度実績                                                                         | 評価 |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----|
| CO <sub>2</sub> 排出量削減：前年度比1%削減（CO <sub>2</sub> 排出量／生産高） | 埼玉工場で使用する蒸気ボイラーの燃料を重油から都市ガスに転換することにより、グループ全体で生産高原単位にて前年度比7.1%の排出量削減を実現しました。      | ○  |
| 生産性向上（生産、販売、研究開発、間接）                                    | 各事業所にて生産性向上の活動を実施し、特に安城工場・大阪工場では塗工速度を増速することで生産性が改善されました。                         | ○  |
| 生産設備安定稼働に向けた自主保全レベルの向上                                  | 設備点検を中心に安定稼働に向けた取り組みを行っていますが、さらなる安定稼働に向け、故障を未然に防ぐ活動の推進を図ります。                     | △  |
| 環境関連法規制遵守への組織的取組み強化                                     | 各生産事業所巡回による環境関連法規制遵守状況の確認および内部監査において法規制の遵守監査を実施し、環境法令などの遵守状況をチェックする仕組みの強化を図りました。 | ○  |
| 排出量取引制度に向けた取組み強化                                        | 埼玉県目標設定型排出量取引制度において、埼玉工場では第1計画期間（平成22年度～平成26年度）の目標である基準排出量6%の削減を達成しました。          | ○  |
| 脱溶剤、減溶剤の推進（製品開発、新規設備対応）                                 | 脱溶剤化に向けて製造工程の見直しによる溶剤使用量の削減や溶剤を使わない製造方法の製品設計をすすめています。                            | ○  |

○：できました！より一層頑張ります △：もうひといき！もっと頑張ります

資源とエネルギーの使用・排出量 対象範囲：本社、埼玉工場、安城工場、大阪工場、グループ会社3社





## ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号  
TEL.03-5978-5601 FAX.03-5978-5620  
ホームページ <http://www.nichiban.co.jp>

ご意見・ご質問は、下記までお願いいたします。

### 広報宣伝室

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号  
TEL.03-6386-7190 FAX.03-5978-5620

●®は登録商標、TMは商標です。



本報告書は、「FSC®森林認証紙」、「ベジタブルオイルインキ」を使用し、VOC削減効果の高い「水なし印刷」で印刷しました。